

《4 輪走行における注意事項及び走行手順》

走行前準備

1. 飛散防止の為、ヘッドライト等をガムテープなどの粘着テープでテーピングする。
2. ゼッケンは運転席側ドアに貼り付ける。
3. 計測用発信機は、運転席側の窓ガラスの内側、センターピラーよりも、貼り付ける。
4. 走行前に必ず運転席側の窓を閉める。
5. シートベルト、ヘルメットのあご紐、グローブは必ず着用し、服装は長袖、長ズボン(長袖のツナギも可)とする。また、靴はペダル操作に支障のない靴とすること。

走行手順

1. 最終コーナー下のトンネルを通り抜け、そのまま直進する。
2. コントロールタワー前で係員のチェックを受ける。(ドライバーの装備や発信機の位置等)
3. コースインをするときは、ピットロードエンドより左ウィンカーを出し、後方を確認しつつ、シケインまでコースの右側のラインに沿って走行すること。
4. ピットロードエンドでは止まらないこと。
5. ピットインの時は7番コーナー侵入付近から右ウィンカーを出し、コースの右側を走行し、確実に減速してピットロードに進入すること。
6. コース、グリーン、ピットロードは一方通行であり、逆走、バックギアの使用は禁止とする。ただし、方向転換などやむをえない場合にかぎり、例外とする。
7. ピットイン時、ピットエリアでは、なるべく前方(コントロールタワー寄り)の方から停車すること。
8. パドックに戻る時は、コントロールタワー前で折り返し、ピット裏通路へと入り、トンネルを抜る。
9. チェッカーフラッグにより走行終了とする。ペースダウンし、ピットに入ること。

注意事項

1. シケインでショートカットをした(ラン・オフ・エリア内に入った)場合、その出口(コースとの合流地点)で必ず一時停止をし、後方の安全を確認した後、再スタートすること。
2. スロー走行をする場合、全周にわたり右側を走行すること。
3. 最終コーナーにある、緊急ゲートからの出入りは一切禁止とする。
4. クラッシュ及びトラブルで自走不可能な場合は、ドライバーは安全確認をし、速やかに車両及びコースから離れ非難すること。その後、オフィシャルのレスキューを待つこと。
5. トラブルによりオイル等の液体を撒き散らした場合、そのままコース上を走行してはならない。自走可能でピットまで戻れる場合は、グリーン上を走行すること。また、自走不可能になると予想される場合は、できるだけコースから離れたグリーン上に車両を停車し、ドライバーは非難すること。
6. 赤旗が出た場合は、走行中の全ての車両は、ピットに戻らなくてはならない。また、赤旗が出た際にはコースインをしてはならない。
7. 走行終了後、なるべく早めに、発信機、ゼッケンを返却すること。破損、紛失してしまった場合、実費にて徴収する。